北谷観光MaaS事業 (沖縄県 北谷町)

選択テーマ・フィールド

テーマ

C. 需要側の変容を促す仕掛け

フィールド

沖縄県北谷町:13.93平方キロメートル、28,223人(令和2年) 近年、西海岸地域の整備が進み、県内屈指の人気観光地になっている。 観光客のレンタカー利用率が高く、交通渋滞や駐車場不足等の交通問題 が常時発生している。

地域の交通課題

- ・沖縄県本島の観光客の60.5%がレンタカーを利用(平成30年度観光統計実態) 調査)。空港でのレンタカー貸出には混雑シーズンになると2時間以上の待ち 時間が発生している。
- ・那覇空港と北谷町を結ぶ国道58号線は、県内有数の渋滞区間。
- ・北谷町内では、駐車場不足が深刻な問題(西海岸地域の4割が駐車場)。
- ・帰宅時、渋滞やレンタカー返却にかかる時間を考慮して、観光客は早めに空港 に向かってしまう(最後まで北谷町内で遊ぶことができない)。また、空港内には 大量の手荷物が集まってしまうため、置き場所不足が深刻な問題。





社会実装に取り組んでいる新しいモビリティサービス

事業計画

 北谷町を訪れるANA利用客に対して、那覇空港~北谷町間の最短 時間のシャトルバス及び手荷物輸送と、北谷町内(公道)の自動走行 カート料金のパッケージを販売し、レンタカー利用に変わる新しい観 光スタイルの浸透を図る。(ラストマイルは貨客混載を試行)

想定利用者

- 北谷町を訪れるANA利用客を対象とする。
- アクティブシニアや3世代以上の家族連れ等、余裕時間の購入に意 欲的な層に訴求する。
- 初年度は那覇空港~北谷町間のシャトルバスを往復6便(片道12便) 運行し、利用状況に応じて運賃や便数等を見直す。

実証実験の概要

- 観光MaaSとしての本サービスの成立性を検証する。
 - (1)提供サービスが利用されることで、顧客の行動変容が起こるか ②サービスが事業として成立するか
 - 本事業が提供する新しい観光スタイルの受容性
 - パスポートシステム(※)の価格受容性
 - ・本サービスの需要量

※シャトルバス、手荷物輸送および、町内公道自動走行カート利用料 のパッケージ販売

• 実証期間内に随時見直しを行い、適正なサービス内容及び価格を見 極めつつ、本事業の採算性を検証する。

■検証手法

- レンタカー返却待ち時間の可視化等情報提供を実施し、混雑時間の 比較が行われたか、返却場所転換したかなど、調査する。
- すに、観光客へのアンケートによって空港~北谷町間の移動手段、 駐車場利用状況、満足度の調査を実施する。町内やホテルだけでな く、帰宅時の飛行機内でアンケートを行うことで、本サービスを利用し なかった観光客への調査も行う。

実証実験 内容

検証命題・

検証手法

- MaaSアプリ(ANAの空港アクセスナビをベース)経由で本サービスの 予約を受け付ける。
- 到着時、観光客は空港で手荷物を預け、直通シャトルバスで北谷町 に到着し、町内を自動走行カートおよびグリスロ電動シェアカートで観 光する。
- 出発時(帰宅時)、観光客は町内で手荷物を預け、手ぶらの状態で買 い物や食事を楽しみ、シャトルバスで空港に移動する。
- 営業活動として、ANAのHPへの広告掲載及び主要空港(東京・中部・ 関西)でのパンフレット配布を行う。

実施体制

団体名(実施内容・役割) 団体区分

代表団体

ユーデック株式会社(幹事会社)

参加団体

ANAあきんど株式会社、ANA X株式会社、全日空商事株式会社、株 式会社Airporter、那覇空港ビルディング株式会社、北谷タウンマネジ メント&モビリティサービス合同会社(ユーデック株式会社、株式会社 デポアイランド、株式会社那覇ハイヤー、有限会社美ら島、ヤマハ発 動機株式会社)、ソニーグループ株式会社、北谷町